

## 空飛ぶマイクロプラスチックをつかまえる！

～地球表層を巡るプラスチック問題を考えよう～

- 目的** 高校生が早稲田大学の研究者による講義「空飛ぶマイクロプラスチックをつかまえる！」を通して、最新科学への興味・関心を高めるとともに、最先端の環境問題について理解を深め、これからの進路選択の一助とする。
- 対象** 高等学校・中等教育学校後期課程の生徒
- 日時** 令和3年6月12日(土) 13:30～15:30
- 会場** 県立松代高等学校 社会科教室(特別棟2F)  
十日町市松代4003-1 (まつだい駅から徒歩8分)
- 講師** 早稲田大学 理工学術院創造理工学部 教授 大河内 博 先生
- 内容** 今、環境問題として大きな注目を集めているマイクロプラスチック汚染。富士山頂での大気観測の実際や越境大気汚染の実態を解説しながら、大気中マイクロプラスチック研究の最先端を紹介する。



- 参加費** 無料
- 申込み** 別紙申込用紙を 6月7日(月)までに担当へ送付してください。
- 連絡先** 県立松代高等学校 佐藤(教頭)  
電話 025-597-2064(代表)  
FAX 025-597-3936



(申込用紙) 送信票不要

県立松代高等学校 教頭 佐藤 あて ( F A X 025-597-3936 )

## 早稲田松代塾「第3回高校サイエンス講座」

### 参加申込用紙

令和3年 月 日

学校名	
送信者	
電話番号	

○ 参加希望者

No	学年	生徒氏名	性別	電話番号 (緊急連絡先)	備考
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					

※氏名・電話番号などの個人情報は講座実施、および緊急の場合にのみ使用します。  
この目的以外には使用しません。

# 空飛ぶマイクロプラスチックをつかまえる！

～地球表層を巡るプラスチック問題を考えよう～

## 【概要】

現代はプラスチックの時代です。プラスチック生産量は1950年以降に急増し、2050年には400億トンに達すると言われています。世界全体で年間800万トンのプラスチックが陸域から河川を通じて海洋に流出しており、海洋生態系の破壊が懸念されています。持続可能な開発目標(SDGs)で海洋プラスチックが取り上げられ、プラスチック使用量削減のために、2020年に国内でレジ袋が有料化されました。しかし、新型コロナウイルス禍による在宅学習・勤務に伴ってプラスチック容器ゴミが急増しました。プラスチック製不織布マスクの月間推定使用枚数が1290億枚にもなり、不適切管理によりプラスチック汚染が広がっています。

プラスチック容器包装廃棄量は中国が世界一です。中国は様々な大気汚染物質の排出量が多いので、中国大陸の東に位置する日本はその影響を強く受けています。黄砂が飛来するときには、様々な人為的大気汚染物質も一緒に飛来しています。越境大気汚染です。私たちは、上空であるために遮るものがなく、風が強い富士山頂で様々な越境大気汚染の観測を行ってきました。新しい大気汚染物質として大気中に浮遊するマイクロプラスチック(airborne microplastics; AMPs)の研究を始め、富士山頂でもマイクロプラスチックが浮遊していることを発見しました。令和3年4月から、環境省総合推進費「大気中マイクロプラスチックの実態解明と健康影響」として、本格的に研究を開始することになりました。

ここでは、富士山頂での大気観測の実際や越境大気汚染の実態を解説しながら、大気中マイクロプラスチック研究の最先端をご紹介します。



(早稲田大学創造理工学部教授 大河内先生より)